

しまぎんの 経営情報

2011年(平成23年)3月期
(平成22年4月～平成23年3月)

【単体情報】



マスコットキャラクター
“シマニー”

1. 東京証券取引所市場 第二部上場について

当行は、平成23年3月15日に東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。

これもひとえに、これまでの長きに亘りお支援頂きました株主の皆さま、お客さま、そして地域の皆さまのご支援の賜物と、ここにあらためて御礼申し上げます。

当行は、大正4年に松江相互貯金株式会社として創業以来、山陰地域に根差した金融機関として、地域完全密着型の経営姿勢を貫いてまいりました。

これからもフェイス・トゥ・フェイスの精神の下、地域の皆さまのあらゆるニーズにお応えするとともに、社会的信用力や知名度の向上、収益力と財務基盤の強化を図り、一層の企業価値向上に努めてまいります。

また、平成27年に迎える創業100周年に向けて、この度の上場を一つのステップとし、力強く羽ばたき、地域に貢献してまいりたいと考えておりますので、更なるご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



取締役頭取 田頭基典

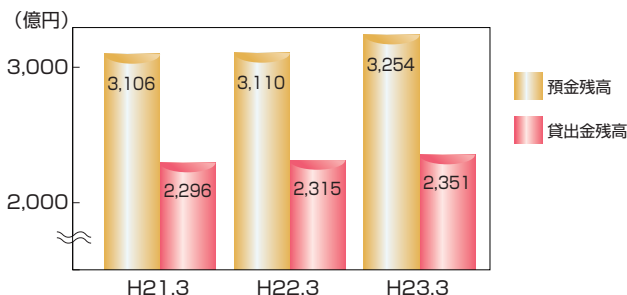
2. 預金・貸出金、個人預り資産

預金・貸出金及び個人預り資産の状況は次のとおりです。

預金・貸出金

(百万円)

区 分	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
預金残高	310,668	311,094	325,483
個人預金	215,355	219,187	224,455
法人預金	62,097	63,982	63,836
公金預金	31,275	25,522	35,443
金融機関預金	1,939	2,401	1,747
貸出金残高	229,651	231,522	235,196
中小企業向け貸出	124,537	117,402	112,006
個人向け貸出	66,589	67,799	69,363

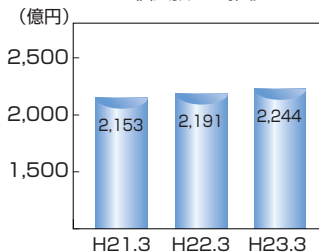


個人預り資産

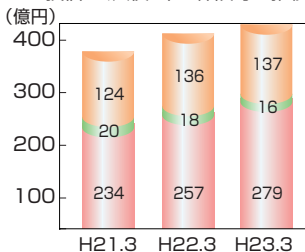
(百万円)

区 分	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
個人預り資産	253,259	260,421	267,830
個人預金	215,355	219,187	224,455
投資信託	12,416	13,601	13,794
公共債	2,027	1,891	1,612
年金保険等	23,459	25,741	27,967

個人預金の推移



投信・公共債・年金保険等の推移



投資信託 公共債 年金保険等

3. 有価証券

有価証券の運用残高及び評価差額等は次のとおりです。

運用残高

(億円)

区 分	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期	
運 用 残 高	767	790	875	
内 訳	債 券	553	622	697
	株 式	58	45	56
	その他	156	122	121

評価差額等

(億円)

区 分	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期	
満期保有目的の債券等 差 額	▲2	0	1	
その他有価証券 評価差額	▲26	9	5	
内 訳	債 券	▲1	6	6
	株 式	▲8	1	▲1
	そ の 他	▲16	0	0

※上記「運用残高」、「評価差額等」には、「売買目的の商品有価証券」は含んでおりません。

※「子会社・関連会社株式」で時価のあるものはありません。

※差額及び評価差額は、各決算日の時価に基づき算出しております。ただし、内訳中の「株式」及び「その他」に含まれる上場受益証券等の評価差額は、期末1ヵ月の市場価格の平均時価に基づき算出しております。なお、平成20年10月28日に企業会計基準委員会より公表された「金融資産の時価の算定に関する実務上の取扱い」（企業会計基準委員会実務対応報告第25号）を踏まえ、変動国債の時価については、合理的に算定した価額に基づき時価を算定しております。

※「その他有価証券」で時価のある株式及び投資信託のうち、期末前1ヵ月間の平均時価が30%以上下落しているものについては、すべて減損処理を行っております。

4. 経営成績

経常収益は、国債等債券売却益が増加しましたが、株式等売却益が減少したことや、貸出金利回りの低下を主因として貸出金利息が減少したことなどから、前年同期比320百万円減収の7,780百万円となりました。

一方、経常費用は、与信関連費用、営業経費が増加しましたが、預金金利回りの低下を主因として預金利息が減少したことなどから、前年同期比209百万円減少し6,822百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比110百万円減少の957百万円となりましたが、前期にあった減損損失による特別損失がなかったことなどから、当期純利益は前年同期比7百万円増加の609百万円となりました。

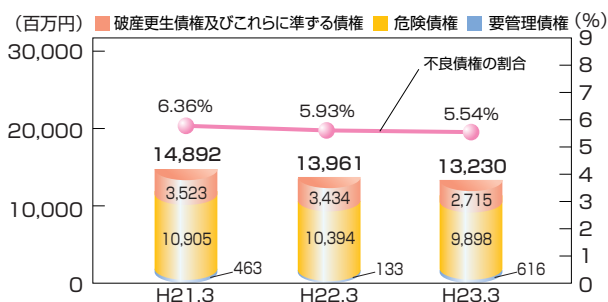
(百万円)

区 分	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
経 常 収 益	8,737	8,100	7,780
経 常 費 用	8,058	7,031	6,822
経 常 利 益	679	1,068	957
当 期 純 利 益	431	602	609

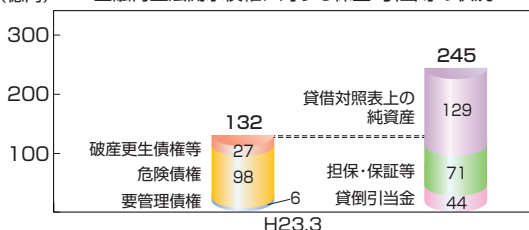
5.不良債権

金融再生法に基づく開示債権額（貸出金及び支払承諾等貸出金に準ずる債権を対象）は次のとおりです。

区 分	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,523	3,434	2,715
危険債権	10,905	10,394	9,898
要管理債権	463	133	616
計 ①	14,892	13,961	13,230
正常債権	219,011	221,410	225,498
合計 ②	233,903	235,372	238,729
不良債権の割合 ①/②	6.36%	5.93%	5.54%



(億円) 金融再生法開示債権に対する保全・引当等の状況



金融再生法に基づく開示債権について

- ◆「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産・会社更生・再生手続き等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権を指しており、担保等で保全されていない部分については、既に、貸倒引当金にてフルカバーしております。
- ◆「危険債権」とは、債務者が、経営破綻の状態には至っていないものの、財政状態・経営成績が悪化し、契約おりの返済を受けることができなくなる可能性の高い債権を指し、「要管理債権」とは、要注意先に対する債権のうち、3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権を指しており、それぞれ区分に見合った貸倒引当金を計上しております。
- ◆この金融再生法開示債権（いわゆる不良債権）132億円に対しましては引当金44億円、担保・保証等71億円、計116億円が計上されており、正味の不足額は15億円であります。この全額が万一回収不能となった場合でも、これに対する当行の貸借対照表上の純資産はその8倍強（129億円）あり、不良債権に対する備えは十分にあります。

銀行法に基づくリスク管理債権額（貸出金のみを対象）は次のとおりです。

(百万円)

区 分	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
破綻先債権	1,279	912	752
延滞債権	12,921	12,696	11,635
3か月以上延滞債権	34	10	18
貸出条件緩和債権	428	122	598
計 ㉠	14,664	13,742	13,004
貸出金残高(未残)㉡	229,651	231,522	235,196
不良債権の割合 ㉠/㉡	6.38%	5.93%	5.52%

6. 自己資本比率

自己資本比率は、銀行が保有する貸出金や有価証券等の資産に対し、資本金や引当金等の内部資金をどの程度保有しているかを見る指標であり、銀行の健全性を示す重要な指標です。

区 分	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
自己資本比率	8.24%	9.18%	9.58%
基本的項目(Tier1)比率	6.45%	7.34%	7.71%

自己資本比率について

- ◆当行のように海外に営業拠点を有しない銀行は国内基準の対象となり、自己資本比率が4%以上あることが求められています。
- ◆平成23年3月期の自己資本比率は9.58%であり、国内基準の4%をクリアしています。

基本的項目(Tier1)比率について

- ◆基本的項目(Tier1)比率とは、自己資本の根幹を成す「基本的項目」(資本金や剰余金など)によって算出される比率のことです。
- ◆平成23年3月期のTier1比率は7.71%であり、この比率でみても国内基準をクリアしています。

7. 企業の社会的責任(CSR)への取組み

当行は、従来から企業の社会的責任の重要性を強く認識し、「経営理念」の一つとして掲げた上で、収益性・健全性の向上や内部管理態勢の強化などに向けた取組みを着実に実施するとともに、株主の皆さま、お客さま、地域の皆さま、従業員などステークホルダーの皆さまからの様々なご期待にお応えできるよう、社会貢献活動についても積極的に推進しております。

今回、社会貢献活動の中から、以下の活動をご紹介します。

東日本大震災による被災者の皆さまへのご支援

当行では、東日本大震災による被災者の皆さまをご支援するため、以下の取扱いを行っております。

- ✓ 預金証書、通帳、キャッシュカード、届出印鑑を紛失された場合、ご本人であることを確認の上、10万円以内でお支払いさせていただきます。
- ✓ 定期預金等の期限前払戻しなどについても、ご相談を承ります。また、これを担保とする貸付にも応じさせていただきます。
- ✓ 今回の災害による障害のため、支払期日が経過した手形については取立ができるよう関係金融機関と調整させていただきます。
- ✓ 災害時における手形の不渡処分については配慮させていただきます。
- ✓ 汚れた紙幣の両替等は、窓口でお取扱させていただきます。
- ✓ 国債を紛失された場合は、窓口にご相談下さい。
- ✓ 災害の復旧、応急資金等の各種ご融資のご相談は、当行本支店（出張所を除く）に設置しております「金融円滑化相談窓口」にて承ります。
- ✓ 義援金送金に係る窓口での振込手数料を無料化いたします。（※1）
- ✓ 普通預金、当座預金の代理払戻しを実施いたします。（※2）
- ✓ 全営業店にお客さまからの義援金を受付けるための募金箱を設置しております。（※3）

※1:無料化の対象となる義援金送付先については、当行ホームページ (http://www.shimagin.co.jp/other/tohoku_info.html) をご覧ください。

※2:代理払戻しの対象金融機関については、当行ホームページ (<http://www.shimagin.co.jp/news/index.html>) をご覧ください。

※3:募金箱の設置期間は、平成23年6月末までを予定しておりますが、必要に応じて延長させていただきます。また、この義援金は、当行が責任を持って、日本赤十字社島根県支部に寄贈させていただきます。

なお、当行グループ（当行、松江リース株式会社、しまぎんユーシーカード株式会社）及び同役職員といたしましても、被災者の皆さまの救援や被災地の復興に役立てて頂くために、義援金550万円（当行300万円、グループ会社2社100万円、役職員150万円）を平成23年3月に日本赤十字社島根県支部に寄贈させていただきました。

平成23年3月22日、日本赤十字社島根県支部にて、写真左から二人目より当行常務取締役 野田哲也、しまぎんユーシーカード株式会社社長 生間善三、松江リース株式会社社長 高橋保



〔しまぎん店舗のご案内〕

■島根県(25カ店)

◎松江市(11カ店)

本店営業部 TEL(0852)24-4000
北出張所 TEL(0852)24-1451
松江駅前支店 TEL(0852)24-1351
南出張所 TEL(0852)24-1251
津田支店 TEL(0852)24-1551
松江御園地支店 TEL(0852)24-1651
山代支店 TEL(0852)24-1751
黒田支店 TEL(0852)23-7777
上乃木支店 TEL(0852)22-7755
学園通支店 TEL(0852)21-2120
松江営業センター出張所 TEL(0852)24-1564

◎隠岐郡(1カ店)

西郷支店 TEL(08512)2-1224

◎安来市(1カ店)

安来支店 TEL(0854)22-3535

◎出雲市(5カ店)

出雲支店 TEL(0853)30-6611
出雲東出張所 TEL(0853)22-5260
出雲中央出張所 TEL(0853)23-6262
大社支店 TEL(0853)53-2142
平田支店 TEL(0853)62-2314

◎雲南市(2カ店)

大東支店 TEL(0854)43-2621
雲南支店 TEL(0854)45-5557

◎簸川郡(1カ店)

斐川支店 TEL(0853)72-5200

◎大田市(1カ店)

大田支店 TEL(0854)82-0395

◎江津市(1カ店)

江津支店 TEL(0855)52-2626

◎浜田市(1カ店)

浜田支店 TEL(0855)22-0276

◎益田市(1カ店)

益田支店 TEL(0856)22-2222

■鳥取県(9カ店)

◎米子市(4カ店)

米子支店 TEL(0859)34-3131
米子東出張所 TEL(0859)22-7370
角盤町支店 TEL(0859)32-5121
米子駅前出張所 TEL(0859)33-5221

◎境港市(1カ店)

境支店 TEL(0859)42-3761

◎日野郡(1カ店)

根雨出張所 TEL(0859)72-0371

◎倉吉市(1カ店)

倉吉支店 TEL(0858)22-4158

◎鳥取市(2カ店)

鳥取支店 TEL(0857)22-3118
鳥取駅南出張所 TEL(0857)24-8141

本ミニ・ディスクロージャー誌は、しまぎんの主要な経営情報をタイムリーに、また、分かりやすくお伝えすることを目的として作成しております。

今後も地域の皆さまに、積極的な経営内容の情報開示をおこなってまいります。

なお、本誌記載の情報は当行ホームページに掲載しております。

島根銀行 (平成23年5月発行)

お問合せ先：人事財務グループ
松江市東本町2-35 〒690-0842
TEL.0852-24-1234 (代表)
URL.<http://www.shimagin.co.jp>

